



キャンパスライフ

TOTTORI UNIVERSITY YONAGO CAMPUS

バックナンバーは
こちらから



【特集】 医学部長に聞く！！

4月で就任一年を迎える永島医学部長に学生広報がインタビュー！

医学部長の仕事やこれまでの歩み、医学部への思いを聞きました。



知られざる医学部長のお仕事とは？

一番多いのは、学部に関わるさまざまな書類の確認や決裁業務ですね。また、学部内で何かトラブルが起きたときに対応するのも大切な役割の一つです。なので、君たちはトラブルを起こさないようにお願いしますね（笑）

いま医学部で力を入れていることはなんですか？

現在は、医学部の理念を見直そうという話を進めています。鳥取大学の理念である「知と実践の融合」のように短くて覚えやすく、そして医学部の目指す方向が伝わる言葉にしたいと思っています。

また、医学部の広報をより活発にして



いきたいと考えています。若い世代の視点も大切だと思っているので、学生広報の皆さんにも加わってもらいながら進められたらと思います。

整形外科医でもある永島医学部長。医師を志したきっかけとは？

なぜ医師になろうと思ったのですか？

もともとは国際ジャーナリストや外交官のような仕事に憧れていました。ただ、国語の小説がどうしても自分に合わなくて。一方で、論理的に答えを導き出す理系科目は好きで、進む道を考えた結果、「医学部しかないかな」と決意したのが始まりでした。

「整形外科を選ばれたきっかけを教えてください。」

学生時代は骨や筋肉の名前を覚えるのが苦手で、「整形外科にだけは絶対になるものか」と思っていました。ところが、実際に学んでいく中で、バイオメカニクス（生体力学）など物理的な理論が重要だと知り、単なる暗記ではない学問としての面白さに魅力を感じて、今に至ります。

生涯現役の源は、ボート部仕込みの体力!?

引退後の夢や、やってみたいことはありますか？

大学に入り直して、歴史などの文化的な勉強をしてみたい気持ちもあります。でも、医師免許には定年がないので、いつか皆さんに看護される日まで現役でいることになりそうです（笑）

元気の秘訣は体力づくりで30歳頃からジムに通い続けています。学生の

時代はボート部で国体にも出場しました。当時のナショナルチームと試合をした経験もあり、今でも後輩たちには「ナショナルチームに胸を貸してやったんだ」と自慢しています（笑）

学生や高校生へのメッセージをお願いします！

医学部を目指す皆さんには、「なぜ医療に携わりたいのか」という思いを大切にしたいと思っています。偏差値だけで進学先を選ぶのではなく、医療の現場で働く覚悟を持って学びに来てほしいですね。

また、鳥取大学では少人数だからこそ多くの経験を積み、医療人としての基礎をしっかり身につけることができます。ここで力をつけ、それぞれの地域で活躍してもらえれば嬉しいです。



卒業式

3月5日、米子キャンパスで医学部・大学院の学位記授与式と卒業式が行われ、317名が新たな門出を迎えました！



学生広報卒業生からのメッセージ



保健学科検査技術科学専攻
4年 西山さん

職員の方から声をいただき、学生広報を立ち上げてから1年が経ちました。最初は学生が私1人の会議もあり不安もありましたが、今では多くのメンバーに恵まれました。鳥取大学を離れますが、今後の活動も応援しています。

保健学科検査技術科学専攻
4年 田窪さん

創設メンバーとして1年間活動しました。広報誌のデザインや人前で話す機会など、多くの経験をいただきました。2人で始まった学生広報が少しずつ大きくなっていくのが嬉しく、学生広報の仲間に心より感謝しています。



発行

鳥取大学米子地区事務部総務課広報係・医学部学生広報スタッフ

〒683-8503 鳥取県米子市西町86 TEL.0859-38-7037 Mail:me-kouhou@ml.adm.tottori-u.ac.jp